

令和3年度第1回富津市総合教育会議 会議録

1 会議の名称	令和3年度第1回富津市総合教育会議
2 開催日時	令和3年11月18日(木) 11時00分から11時47分まで
3 開催場所	市役所4階 401会議室
4 審議等事項	富津市立図書館整備基本計画(素案)について
5 出席者名	高橋市長、岡根教育長、池田教育長職務代理者、坂部委員、嶋野委員、藤平委員、平野教育部長、須藤教育部参事兼学校教育課長、小野田教育総務課長、保坂教育センター所長、宮崎主幹、樋口生涯学習課長、平野公民館長、田村教育総務課庶務係長、刈込教育総務課主事
6 公開又は非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	
8 傍聴人数	4人 (定員 6人)
9 所管課	教育部教育総務課庶務係 電話 0439-80-1340
10 会議録(発言の内容)	別紙のとおり

令和3年度第1回富津市総合教育会議 会議録

発 言 者	発 言 内 容
<p>高橋市長</p> <p>事務局 (平野部長)</p>	<p>ただ今から、令和3年度第1回富津市総合教育会議を始めます。事務局に進行をお願いします。</p> <p>会議の事務局につきましては、地方自治法第180条の2の規定により、教育委員会が補助執行することとしていますので、進行は、私、平野が務めさせていただきます。よろしくお願いします。</p> <p>総合教育会議は、市長と教育委員会が構成委員となっています。</p> <p>今回の総合教育会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4第4号の規定により、教育委員会から市長に対して招集の求めがあったことから、市長と教育委員会が協議するものでございます。</p> <p>また、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4第6号の規定により、原則公開となっており、傍聴人は4人おられ、既に入室していただいております。</p> <p>それでは、次第に沿いまして会議を進めてさせていただきます。</p> <p>まず、始めに、高橋市長から御挨拶を申し上げます。</p>
<p>高橋市長</p>	<p>はい。令和3年度第1回富津市総合教育会議に御出席いただきまして、ありがとうございます。</p> <p>教育委員の皆様には、日頃から富津市の教育行政の推進に御尽力をいただいておりますことに、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。</p> <p>さて、先日の11月14日に市制施行50周年記念式典を挙行させていただきました。池田教育長職務代理者には教育委員会を代表して御出席を賜ったわけですが、本来であれば3名の委員の皆様にも御出席賜るところですが、コロナ禍ということで市民の皆様も人数を狭めて、開催させていただきました。御理解をいただきたいと思います。</p> <p>あらためて本市の発展は、先人の方々、そして市民の皆様の並々ならぬ思い入れを持って、これまでまちづくりに努めていただいた積み重ねが今の富津市の形であると強く感じました。これからも歴史伝統そして富津市の良さ、守るべきものはしっかり守り、次の世代に伝えていきたいと思います。その式典に知事にも出席いただきました。市内の視察もいただき、観光面、道路、行政に対しまして、心強いお言葉をいただきました。今後も県のお力をお借りしながら、一步一步力強く前に行政を進めていきたいと思います。</p> <p>さて、新型コロナウイルスですが皆様の感染対策予防のおかげをもって現在、感染者が少ないという状況です。第6波が到来しないようにこの状況を保っていききたいと思います。その一つの大きな要因でもありますワクチン接種ですが、昨日現在で、市民の皆様の第2回目の接種が87.2パーセントを終えています。この中には、9月までに教職員、10月</p>

に受験生の中学3年生、高校3年生を対象に先行接種の実施をさせていただきました。学校の安全な運営に貢献できたと思います。今後も、継続した感染予防対策を徹底しながら学校現場の安全を守っていきたいと思います。また校外学習や修学旅行が実施できることは大変喜ばしいことです。現場の先生方にはまだまだ気苦労が絶えないと思いますが、子供たちのために頑張ってくださいと思います。

行政も今後もしっかりとこの状況を乗り越えながら、市民の皆様が安全安心に暮らせる富津市のために、邁進してまいります。

教育に関してですが、私ども行政に携わるものとしては教育環境改善が非常に大きなことだと思います、GIGAスクール構想による補助金を活用し、高速大容量の校内通信ネットワーク、児童・生徒1人1台のタブレットの整備、国土強靱化関連事業を活用したトイレ改修工事も大貫小学校を除いてすべて完了しております。大貫小学校も近く完了する予定です。

今後は、新学校給食共同調理場の建設、また、本日の議題であります富津市立図書館の整備を中心に、しっかりとスケジュールに則って、達成できるように努めてまいります。

教育委員の皆様の一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

本日の総合教育会議は、富津市立図書館整備基本計画（素案）について、委員の皆様との協議させていただき予定でございます。

また、この総合教育会議は、私、市長と教育委員会が、円滑に意思疎通を図り、市の教育の課題や目指す姿等を共有しながら、同じ方向性のもと、連携して効果的に教育行政を推進していくために行われていくことが大切であると考えております。

今後とも、御指導のほどよろしく申し上げます。簡単ですが会議冒頭の挨拶とさせていただきます。

はい。ありがとうございました。

次に会議録署名人の指名ですが、富津市総合教育会議運営要領第4条第3項の規定により、市長及び会議において指名された委員にお願いすることになりますので、高橋市長は、会議録署名人の指名をお願いいたします。

はい。本日の会議録署名人は、岡根教育長をお願いいたします。

はい。承知いたしました。

それでは、本日の会議録署名人につきましては、高橋市長と岡根教育長をお願いいたします。早速、議事に入らせていただきます。

本日の議題は、富津市立図書館整備基本計画（素案）についてでございます。始めに、教育委員会から議題の説明があり、その後、高橋市長

事務局
(平野部長)

高橋市長
岡根教育長
事務局
(平野部長)

<p>樋口課長</p>	<p>と教育委員会の皆さんと意見交換をお願いしたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。</p> <p>それでは、富津市立図書館整備基本計画（素案）について、樋口生涯学習課長から説明をお願いします。</p> <p>はい。私から、富津市立図書館整備基本計画（素案）について、御説明させていただきます。</p> <p>別添資料の富津市立図書館整備基本計画(素案)公開に伴う意見を御覧ください。</p> <p>富津市立図書館整備基本計画(素案)については、去る10月14日に開催しました社会教育委員臨時会議にて、協議・検討し、素案としてとりまとめ、10月29日に開催されました教育委員会定例会において、概要を御説明申し上げたところであります。</p> <p>本日は、10月19日から11月18日までの間、この図書館整備基本計画(素案)を公開し、市民の皆様から御意見をいただいております。11月16日時点において、いただいた16件の御意見につきまして、御説明いたします。</p> <p>便宜上、16件の御意見を内容ごとに分類し、また、御意見については、要約し取りまとめております。</p> <p>まず、【図書館設置賛成の意見】として、これからの子供たちのためにも、図書館はあった方がよいと思ひ賛成。イオンの賃貸料がいくらになるか公開してほしい。富津市の図書室は利用せず、一部制限はあるものの他市の図書館を利用している。少なくとも他市並みの施設にして欲しい。また、契約期間が10年らしいが、継続の計画はあるのか。タブレット等の電子機器ではなく、本を読むことが子供の成長に必要。イオンの中に設置されれば、気軽に立ち寄ることができるので実現してほしい。イオン富津に図書館を造るといふ、大きな決断に感謝します。図書館ができることで人の往来が増え、それが呼び水となりイオンが盛り上がり、街全体も活気が戻ることを期待します。今回の市立図書館計画をめぐり、いくつかの市民団体が活動しているようだが、図書館建設後の運営、ボランティアの受け入れなども含め、情報や機会を限られた者にだけ与えるのではなく、広く市民に平等に与えて欲しい。イオン富津に図書館ができるのは賛成。買い物ついでに利用できるのは便利。やっとなパソコンやスマホで検索できるようになったが、富津市民はあまり本を読まないと思う。図書館(室)には本が揃ってないので、本好きな私には開館が待ち遠しい。という御意見であります。</p> <p>次に、【経費についての意見】として、6月に作成された案件には、想定費用として、準備経費(造作・照明・各種機器・什器・備品等の内装設計施工、図書購入費):令和4年度 約190,000千円~250,000千円 運</p>
-------------	--

営経費（指定管理運営経費、図書購入費、水道光熱費、賃料）：令和5年度～ 約70,000千円/年～110,000千円/年とあるが、年間の運営経費が高いが、これはそのまま採用か。何十年後には、普通に図書館が建つ金額なのでは。運営費の検討を重ねて、税金を大事に使って欲しい。

次に、【計画についての意見】として、示された（素案）は、市民の希望が概ね盛り込まれ、良い内容であるが、この計画に示されるすべての案を盛り込まれるか心配であり、それぞれの機能をどうゾーニングするかが大事。実際にできたものが、自分のイメージと異なっているといった不満の声が出ないようにするためにも、（素案）を（案）にする12月7日の社会教育委員臨時会において、参考資料として、市がイメージする図書館レイアウト（ゾーニング）を開示してもらいたい。

次に、【図書館の施設設備についての意見】として、若い子のために自習室を設けて欲しい。透明の仕切りで外から見えるようにし、私語禁止のルールを設け受験生や社会人も使用できるようにして欲しい。富津公民館2階の展示物は、歴史的、文化的に価値のあるものなので、市立図書館に展示するのはいかがか。たとえ図書館の開設期間が10年だとしても、資料はその期間絶えず人目に触れることになり、富津に親しみを持ってもらうには必要不可欠ではないか。すべての人に満足のあるものを作ることは不可能だが、少しでも市民が行きたいと思う場所になることを願う。

次に、【その他の意見】として、6ページ「子どもへのサービス」の項目の中で、子どもたちが本と触れあう機会と環境づくりに努めるとあるが、少子化の時代、子供たちに図書館・図書室に関心をもってもらい、利用率向上が図れるよう、各小中学校に「読書指導員」を配置し、「調べる学習」を実践できるよう、具体的な実施計画を作成する際に検討してほしい。市立図書館は、市民の永年の要望であり、設置に踏み切ることは大賛成で、基本方針にも基本的に賛成。しかし、基本方針を実現するうえで「イオンモール富津内」に設置し、「指定管理者制度」を利用することには問題があると考え。1 イオンの空きスペースを破格の賃借料で利用することが計画の前提となっているため、スペースは狭く、基本方針を十分に実現できない。例えば、市立図書館の閉架スペースの不足に対応するため、富津公民館を郷土資料を中心とした閉架書庫として活用するとあるが、①富津公民館からイオンまでは距離があり、これまで図書室を利用してきた、車を運転できない富津の住民への対応が必要ではないか。②郷土資料は色々あり、特に古文書などは現物保存が原則であり、その活用も考えると富津公民館図書室は狭すぎるのではないか。ただの倉庫になってしまう心配があり、もっと広い別の場所で保存活用すべき。③スペース的限界から蔵書8万冊、公民館図書室等含めても14

万冊程度であり、木更津 36 万冊、君津 57 万冊と比べても大きく見劣りする。いずれもっと広いスペースが必要となる。このことだけでも、基本方針をイオンの中で実現することは困難であると考え。2 予定されているスペースは、窓のない密室で、コロナの経験から壁に穴をあけて換気するような特段の対策が必要であると考え。3 図書館は、公設公営が原則で、図書館協会によると図書館に指定管理はなじまないと結論付けている。富津市は図書館を直営するだけのスタッフが不十分であることは理解しているが、指定管理者制度の下では、契約期間が限定され、経営を維持するために人件費を抑制せざるを得ず司書などの専門的能力の向上に限界が生ずる。将来のことを考えるなら、公設公営にすべき。(結論)現在の計画は、過渡的なものにならざるを得ず、図書館協議会に公募委員を加え、市民がより積極的に図書館を利用し、より充実した公設公営の図書館を建設するステップとして位置づけ、そのための検討を開始することを求めます。

次に、【図書館設置反対の意見】として、イオンモール富津内への富津市立図書館の設置について、今後の市の人口の行く先を考えるに、まさに不要な箱モノとなりかねないので反対。人口の大半が大堀・青木地区に集中しているとはいえ、金谷や関豊方面からは遠い。移動図書館をもっとPRする方が望ましい。(図書館建設には)基本的に反対。近年、図書館に対し、本の著作者からの著作権侵害が提起されているが、この件はクリアされているか?全富津市民(特に小中学生)がイオンモールに行くのは大変。図書館は、運営費が予想以上にかかる。代替え案として、年に一度、アマゾンのギフト券を市民に送ってはどうか。全国の自治体(市)のうち、公立図書館のないのは富津を含む8市。イオンからの提案と聞いているが、大型商業施設の空きスペースに開設することは賛成できない。富津イオンの利用状況調査が先ず必要。レファレンスサービス・蔵書・閲覧施設の整った他市の図書館をこれまで通り利用する。今更敢えて富津イオン内に開設しなくともというのが正直な気持ち。少子高齢、人口減少社会にあっては、広域行政サービスとしてネットワーク化し、いつでも誰でもどこの図書館であっても利用できるよう整備されることを望みます。図書館をイオン富津に設置しようとする基本計画は、感染症や、イオン撤退のリスクの点から反対。見直しを求めます。市民が未永く利用できる図書館を基本計画とし、市民参加の委員会を作ったうえで、じっくりと再検討してほしい。本計画で廃止とされている富津公民館図書室は、身近で利用しやすい図書館の視点から見直し、地域の文化活動の中心に図書館活動は不可欠であることから、3つの公民館を活用した分館体制について基本計画に盛り込むとともに、公民館図書室を充実してほしい。市所有の土地や空き公共施設を有効活用しての市立

図書館の検討を提案します。1 多くの市民が心配・疑問を持っているので、富津イオンが撤退した場合の契約内容を明らかにして欲しい。2 「なぜ急ぐのか？」2018年の富津イオンからの提案を断ったのに、本年6月の議会全員協議会に突然出され、今年度中に計画策定となっている。情報を明らかにして市民レベルの調整・協議を十分に進めないと市民に愛される図書館はできません。3 富津市立図書館整備基本計画(素案)と(実際の)計画には大きな乖離がある。(素案)には「一人で読書や学習に没頭できるよう、音や空調などの快適性に配慮し、ゆとりある学習空間を確保」とあるが、窓のない図書館では実現できません。市民と協議を重ね、市有地につくるべき。候補地として、①中央公民館を本格的に改修②佐貫に建設予定の警察署の隣、などが考えられる。という御意見であります。

計画(素案)の公開については、本日、11月18日を期限としていますので、いただいた御意見については、1つ1つ、計画に盛り込まれているか、また、要望に沿うことができるかなど、検討してまいります。

次に、「図書館設置に伴う要望書」を御覧ください。富津中学校の3年1組の生徒が、社会科の公民分野で学習したことをもとに、富津市の取り組みを知る中で、「図書館設置」という計画があることを知り、生徒たちが各自意見を書いてくれました。図書館設置に対して反対する意見も含まれていますが、基本的には賛成の生徒が多くみられます。中学生の視点からの意見なので、「静かな落ち着いた空間の中で学習できるための施設」を要望する意見が多数見られました。設置に向けて中学生の生の意見として御覧いただければと思います。学校で、取りまとめて提出してくれましたので、御紹介いたします。

「設置についての要望として」・学校との連携をしてほしい。・学習できるための静かな場所の提供をお願いしたい。(個別の席など)・イオンモールに設置ということで、親子や家族が利用する場合も多いと思いますが、一般の図書館のように最低限のルールを決めて落ち着いた空間を作してほしい。・ホームページなどで図書館に対する意見や要望を取り入れる仕組みを作してほしい。・3階に設置するより1階に設置したほうがたくさんの方が利用できると思います。・他市の図書館は図書館内でインターネットを利用できるので、図書館内でインターネットが利用できるようにしてほしい。

・空調設備が整った環境にしてほしい。・せっかくイオンモールに設置するので、小さい子どもへの読み聞かせなどを楽しめるイベントを開催してほしい。

「蔵書についての要望として」・蔵書が検索できるようにホームページを作してほしい。・幅広い世帯に読まれるような本を入れてほしい。・ラ

	<p>イトノベルをたくさん入れてほしい。・本の種類を多く入れてほしい。・探している本がすぐに見つかるようにコンピュータ検索ができるようにしてほしい。・書籍だけでなく雑誌や漫画、DVDが視聴できるなどいろいろできるようにしてほしい。・長期の貸し出し、貸し出し冊数も10冊～20冊程度にしてほしい。・学生が学習しやすいように参考書や問題集なども置いてほしい。このような意見をいただきました。</p> <p>富津市の未来を担う、貴重な中学生の意見と受け止めています。多くは、素案に盛り込んでいるとは思いますが、すぐに結論がでないものもありますので、1つ1つ検討していこうと考えています。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
<p>事務局 (平野部長)</p>	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>皆さんから何か、御質問・御意見ございますか。</p>
<p>嶋野委員</p>	<p>嶋野委員。</p> <p>はい。私の描く富津市立図書館像ですが、ゆっくりと本を読める空間、会話ができてコミュニケーションが気軽に取れる場所、図書館イコール本を借りる場所ではなく、商業施設内の利点を活かした特色のある図書館を目指して造り上げてほしい。買い物の合間に休憩感覚で立ち寄れる場所、例えば珈琲などのドリンクのサービス、若しくは自動販売機を設置するなど飲食物の持ち込みが気軽にできてそこで座って本を読んだり、友人や親子で、図書館司書などと本について語ったり、勉強ができるスペースを造る。静かな勉強ができるスペースを区分してできれば、子供連れでも利用しやすいのではないのでしょうか。また、子供たちへの読み聞かせ、DVD鑑賞、セミナーや講演会のイベントを開催したりする。限られたスペースですので全ての実現は難しいでしょうけれど、こんなことが実現すれば基本コンセプトの「気軽に立ち寄れる、出会い・学び・憩いの場としての図書館」となっていくと思います。</p>
<p>事務局 (平野部長)</p>	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>ほかにございますか。</p>
<p>藤平委員</p>	<p>今いただいた御意見についてのお考えでもよろしいですが、いかがでしょうか。</p> <p>藤平委員。</p> <p>はい。基本計画（素案）の1ページの中段に「あらゆる人々に開かれ、すべての分野にわたり資料を収集・提供できる、市民の生涯学習の拠点施設」としての図書館、3ページにある基本コンセプト「気軽に立ち寄れる、出会い・学び・憩いの場としての図書館」がこれから造ろうとしている富津市立図書館の特徴であると思います。</p> <p>図書館というと過去の資料を保存・累積して世代をとおした文化の継承であったり、古文書、昔の地図であったり過去の資料的なものが分散、</p>

	<p>紛失しないように、一箇所に集めて保管し、未来につなげていく役割が図書館に大きくあると思います。このイオンに開設する富津市立図書館においてはそういう部分も含めたスペース、蔵書数、望む活動内容ですとそこまでは無理ではないか。それを狙うのではなく、このコンセプトにあるように現代社会における知識・情報を伝播することで市民に役立て、円滑なコミュニケーション、情報提供する場を中心にイオンの図書館の構成や基本コンセプトを考えるとという方向で、素案のように進めていくのが望ましいのではないのでしょうか。今求められているものを中心に考えていく。</p> <p>昔の村、町の時代の資料等がどのように保管されているか勉強不足でちょっとわかりませんが、そういう資料が分散して未来に困ることがないように、もう一つの大きな富津市立図書館のそういう部分の形として、考えていくべきではないのでしょうか。</p>
<p>事務局 (平野部長)</p>	<p>はい。その件について、いかがでしょうか。</p>
<p>樋口課長</p>	<p>はい。御意見ありがとうございます。</p> <p>まず、富津市では図書館がなく図書室で対応しております。多くの資料を収集して皆さんが利用しやすい図書館としていくことを形として考えています。仰っていただいたとおり「気軽に立ち寄れる、出会い・学び・憩いの場としての図書館」を基本コンセプトで考えています。一方で、古文書や過去の資料を、現在特別に収集しているわけではございません。手持ちといたしましては、文化財の面でいくつか保存したりしています。今後、古文書や過去の資料をどう図書館の枠の中で管理・保存していくか課題としてやっていきたいと思いますが、なかなか最初から全部やっていくのは難しいので、そういうことも一つの方向性としていたしまして、考えていきたいと思っています。</p>
<p>事務局 (平野部長)</p>	<p>はい。岡根教育長。</p>
<p>岡根教育長</p>	<p>はい。今、課長から話があったように、図書館で富津市の文化・歴史を調べるのは必要だと思いますが、貴重な文化財はいろいろな博物館で保管されている状況です。一番懸念されるのは、狭いスペースでどれだけ盛り込めるかが大きな課題になっています。特集を組んだり、ある一定期間展示したりする、市民の皆様に見ていただきたい文化財はたくさんあります。今のところそういうものを発表する場面がない、富津公民館の2階に少し歴史を語る場所があります。やはり一定期間、時代背景などを捉えながら書籍・古文書を展示するコーナーを設けたりする工夫があれば、市民の皆様目に触れていただけたらと思います。ただ、保管する場所が大きな課題であります。今もいろいろな場所で文化財を保管</p>

<p>事務局 (平野部長)</p>	<p>しています。そういう状況も含めて、どういう形で市民の皆様に富津市の歴史等を見ていただけるコーナーを作るかが課題です。あのスペースで、常時常設は難しいので期間を決めて見てもらうことが必要ではないかと考えています。</p> <p>はい。ありがとうございます。</p> <p>ほかにございますか。</p> <p>池田教育長職務代理者。</p>
<p>池田教育長職務代理者</p>	<p>はい。市民の皆様のお御意見の中で、図書館の建設、設立に反対ないし消極的な方の御意見はやはり 10 年後がどうなるのかが不透明であること。ここはどうしても不安として残る要因であると思います。したがって、市としてそれに対する明確な考え方、伝え方が必要だと思えます。そのうえで、この 10 年間でどういうスタンスで考えるか、その他の御意見で公設公営の図書館を建設するステップとするのか、これも一つの考え方だと思えますし、10 年以上継続する前提で内容の充実を図るのも考え方だと思えます。繰り返しになりますが 10 年後どうするのか、不透明な部分もありますが基本的な考え方の統一ビジョンを作っておいた方がよいのではないのでしょうか。</p> <p>前回、教育委員会会議でも申し上げましたが、限られたスペース中で、あれもこれもと機能を詰め込んでも、あまり相場的になって中身が薄いものになってしまいますので、来館した人の属性に適した特徴付けが大事であり、少しとがってもいいのではないのでしょうか。そういった特徴付け、ビジョンを示すことが次のステップとして必要ではないでしょうか。ご検討いただければと思います。</p>
<p>事務局 (平野部長)</p> <p>樋口課長</p>	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>樋口生涯学習課長。</p> <p>はい。期間につきましては、10 年間ということではありますが、計画の中では適切な時期に今後の更新の協議を進めていくことを考えています。しかしながら私といたしましては、市民に利用していただき皆さんに認知していただき、それ以降も可能な限り図書館として利用していただくのが望ましいと思います。</p> <p>また、開設後、図書館協議会などで御意見をいただき、その後の図書館の在り方を経過していく中で考えていきます。これからスタートするにあたって、10 年間実のあるものとしていかななくてはいけないと思えます。</p>
<p>事務局 (平野部長)</p> <p>池田教育長職務代理者</p>	<p>はい。よろしいでしょうか。</p> <p>はい。ありがとうございます。</p>

<p>事務局 (平野部長) 坂部委員</p>	<p>ほかにございますか。 坂部委員。 はい。図書館が全国でも8市がない中に富津市があり、令和5年度イオンモールの中に図書館ができることは、市民として大部分の方が大賛成であると思います。子供にもなぜ富津市には図書館がないのか、君津市に行かなければいけないのか、何度か問われました。イオンモールさんからの提案をいただいて図書館ができることは、喜ばしいと思います。基本計画(素案)も課題がありますが、クリアして進めていただきたいと思います。 また、10年の期間の中でもいろいろな課題が出るとしますので、クリアしながら市民がイオンモール富津での図書館が良かったと思うようしていただきたいと思います。</p>
<p>事務局 (平野部長) 坂部委員</p>	<p>はい。御意見としてよろしいでしょうか。 ほかにございますか。 坂部委員。 はい。独自の図書館がほしいという市民の皆さんがいると思いますが、市の状況を考えますと今後、調理場建設、小学校の改築等の時期ですので、今後10年の間で、必要であれば検討していったら良いのではないのでしょうか。</p>
<p>事務局 (平野部長) 高橋市長</p>	<p>はい。ありがとうございます。 ほかにございますか。 高橋市長。 はい。委員の皆様にも真剣にこの問題に耳を傾けていただき、また、市民の皆様にも直接いろいろな御意見をいただいております。 公開した際の御意見も、賛成、反対様々な御意見をいただいております。賛成の意見の方々には期待に応えられる愛される図書館の設置したい、反対の意見の方々には不安に思っていることを少しでも払拭できるよう設置する期間の中でしっかり努めてまいります。 しかしながら、設置する図書館は規模からしても、市民の皆様がイメージする君津市の大きな図書館と比べると桁が違う現実がありますが、池田教育長職務代理者からいろいろな特色があり、分野を選定したらよいのではないかという意見がありましたが、ニーズ等に耳を傾けながら、どのような形が良いのかこれから内容を詰めていきたいと思っております。 また、10年という契約期間がありますが、更新を含めた中で、イオンモール富津と協議し計画を進めてまいります。 先ほど、池田教育長職務代理者からお話がありましたが、市民の方からもステップとして考えても良いのではないのでしょうか。10年間の間に市民の皆様が求める図書館像をニーズとして捉えながら、その先を考え</p>

られるよう貴重な時間を過ごしていきたいと思います。

富津市民の図書貸出冊数は、県平均は 4.6 冊を超えていますが、0.5 冊と燦々たる状況です。これは子供の利用を含めての数字です。教育長は就任時から子供の読書の大切さを訴えていますし、大人である私たちも読書は生活の中で非常に重要だと考えています。富津市の蔵書数の少なさもこの数字に直結していると思います。私自身、市民の多くの皆様からこの規模を含めて合格点をいただけるとは思いませんが、今より一歩進むことが大事だと常に思っていますので、多くの市民の皆様にご理解がいただけるよう努めてまいります。委員の皆様にも御理解・御協力、もちろん、いろいろと必要なことに対しては御提案・お叱りをいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

事務局
(平野部長)

はい。ありがとうございます。

ほかにございますか。

岡根教育長。

岡根教育長

はい。高橋市長からの「一歩踏み出す。」という言葉、長年の夢でした。

イオン様からの提案を好機として捉えるのか、そうでないと捉えるのか、様々な意見がありますが、ランニングコストは建てても建てなくても掛かるものですから、初期投資をどうするのかを考えると好機ではないかと思えます。実施にむけて市で考えていただいたことは、素晴らしいと思います。今後は、市民の皆様にご設置、運営に対して意見を出してもらいより良いものにしていくことが教育委員会の責務だと思います。賛成、反対の意見に対してしっかりとした答えを打ち出して、市民の皆様のご協力を得ながら運営していくということではいかがでしょうか。

鏡張りにして、このような意見があつて、このように考えますと提案させてもらうことで御了解いただければ、総合教育会議の意味があるのではないのでしょうか。

高橋市長

はい。私もいただいた御意見は多くの皆様にご知っていただく必要があると思いますので、こちらの都合の良い意見だけを採用するつもりもありません。昨日までいただいたものはすべて提出させていただいています。そうですね。

事務局
(平野部長)

はい。

高橋市長

今後も、そのように務めさせていただきます。先ほどお話させていただきましたが、賛成の意見の方々には期待に応えられるように、不安に思つて反対されているの方々には不安を少しでも設置までに、若しくは設置後の期間を含めて軽減できるような努力を継続していきたいと思えます。

以上です。

令和3年度第1回富津市総合教育会議 会議録

<p>事務局 (平野部長)</p>	<p>はい。ありがとうございました。 ほかにございますか。</p>
<p>岡根教育長</p>	<p>はい。珈琲が飲めるかは少し検討させてください。</p>
<p>事務局 (平野部長) 藤平委員</p>	<p>津軽の図書館は別でしたので。 ほかにございますか。 藤平委員。 はい。富津市民の読書率が低いと市長さんからお話がありました。</p>
<p>事務局 (平野部長)</p>	<p>私も中央公民館の図書室に行き本を借りようと思った時、一生懸命に多くのボランティアさんが手を加えてくれて、子供の部屋があったり、畳があったり、季節の本が紹介されていて、子供のためには整備されていますが、大人向けの本がちょっと古いものが目立ち、あまり興味をそそらない物があります。この第一歩を踏み出すことが形から入るのではないですが、このような環境から富津市にできるということは素晴らしい。市長さん、教育長さんが仰った第一歩から踏み出すことはとても良いことだと思います。</p>
	<p>はい。ありがとうございました。 ほかに何か御質問・御意見ございますか。 御意見も無いようですので、ただ今、皆様からいただきました御意見、また今回、富津市立図書館整備基本計画（素案）の公開に伴う市民の皆様からの意見の照会、富津中学校からの富津市図書館設置に伴う要望書等について加味させていただき、今後調整させていただき、公開させていただきたいと思っております。 それでは、本日の議題であります富津市立図書館整備基本計画（素案）につきましては、協議終了したということで、皆様よろしいでしょうか。 これをもちまして、令和3年度第1回富津市総合教育会議を終了いたします。長時間にわたり、慎重審議、誠にありがとうございました。</p>